

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、未永くご愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を見誤りして誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

禁止 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

強制 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

警告 ● 無理な操作や乱暴な取り扱いは、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
● 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。

注意 ● 火のそばでの使用は絶対におやめください。
● 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを畳んだ状態にしてください。製品の破損や思わぬ事故の原因につながる場合があります。
● 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。
● 必ずリモコンや、手動スイッチで操作を行ってください。スクリーンやレールを持って操作を行わないでください。

警告 ● 付属のブラケット取り付けネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボード等)には使用しないでください。
● 本書に記載されているブラケット取り付け数量と取り付け位置を必ずお守りください。本体が落下し、ケガをしたり物を破損する恐れがあります。
● 設置作業の際には、作業範囲内に破損の恐れがあるものや、作業の妨げになるものがないことを確認の上、作業環境の養生準備を確実に行ってください。

注意 ● 本製品は室内用です。屋外へは取り付けしないでください。
● 高温、多湿の条件(サウナ・給湯器近く・ボイラー室等)への取り付けは絶対におやめください。
● 製品は、左右平行(水平)になるように取り付けてください。

付属部品の数量

部品名	数量
取り付けサポートガイド※3 	1
外付けガイドレール用ブラケット※4 	※2
各部品取り付けネジ※1 	※2

※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。
※2 以下各部品の付属取り付けネジは、注文製品幅・高さにより数量が異なります。
ヘッドレール 製品幅≤2032mmの場合、ネジ穴数は6個。
製品幅>2032mmの場合、ネジ穴数は10個。ネジ穴と同数のネジが付属。

ガイドレール 下記算出したネジ穴数×2の数が付属。

ボトムチャンネル 下記算出したネジ穴数と同数が付属。

外付けガイドレール用ブラケット 下記算出したネジ穴数×2の数が付属。

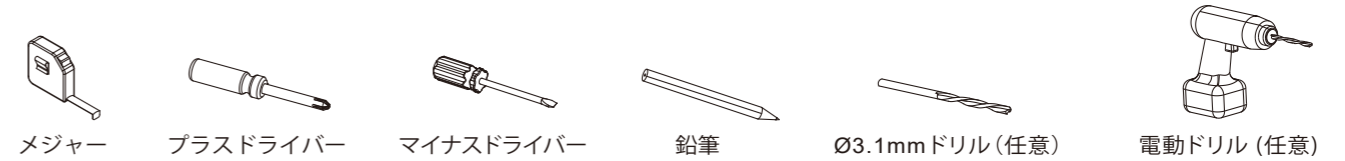
● **ネジ穴数算出方法:** ((A/25.4)-6)/28+1 (*小数点以下端数切り上げ、最低でも2以上になります)。
● **各部品A計算方式**

ガイドレール	ボトムチャンネル
89mm前部フェイスの場合、製品高さ-91mm	窓枠天井付けの場合、製品幅-93mm
114mm前部フェイスの場合、製品高さ-114mm	外付けの場合、製品幅-99mm

※3 窓枠天井付けのみ。
※4 外付けのみ。

取り付け手順

取り付けの際にまず下記の道具をご用意下さい

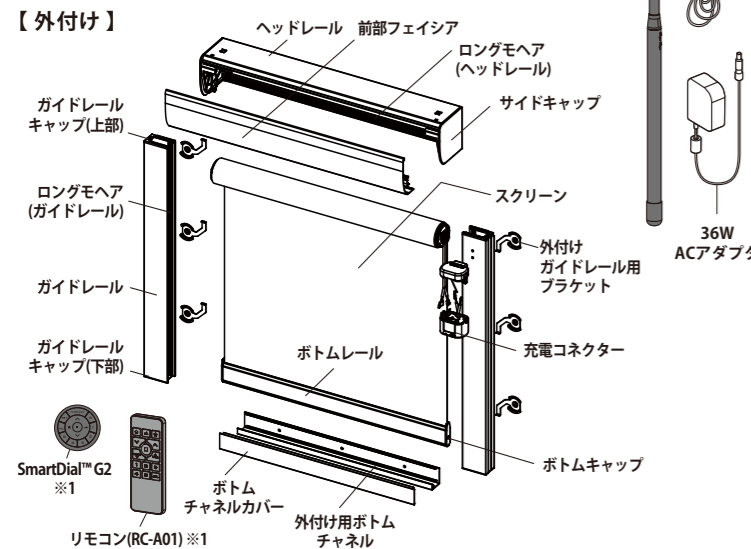
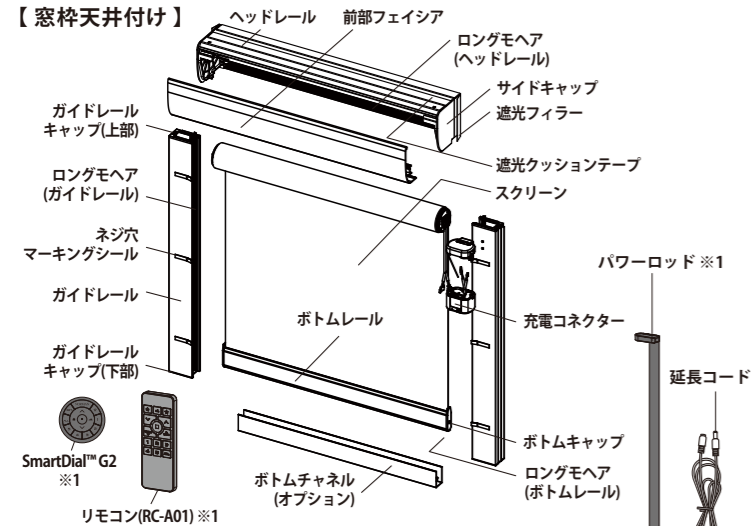


取り付け手順は次の順になります。

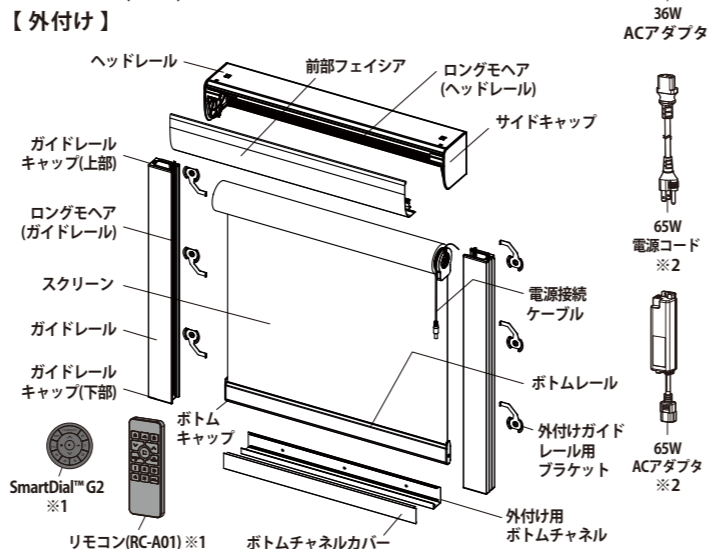
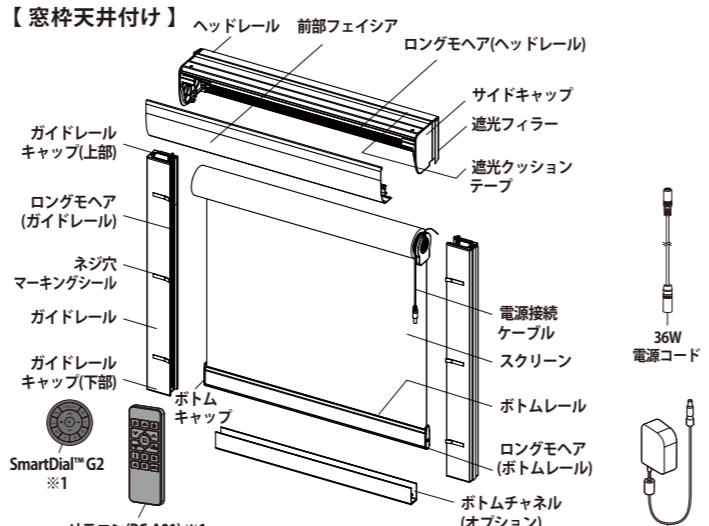
- ① 製品の確認 → ② ヘッドレールの取り付け → ③ スクリーン本体の取り付け → ④ 帯紙の取り外し → ⑤ 左右ガイドレールの取り付け → ⑥ ボトムチャンネルの取り付け ※1 ※2 → ⑦ 前部フェイスの取り付け → ⑧ ネジ穴マーキングシールをはがす ※3 → ⑨ 充電コネクタ-ACアダプタの接続
- ※1 オプション選択のない場合、次のステップにお進みください。
※2 窓枠天井付けの場合には、ボトムチャンネルはオプションとなります。外付けの場合には、ボトムチャンネルが付きます。
※3 窓枠天井付けのみ。

製品全体図及び部品名称、付属部品

スクリーン本体充電電池式



スクリーン本体ACアダプタ式



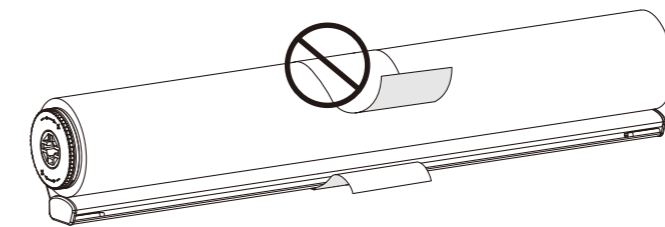
※1 リモコンとパワーコードとSmartDial™ G2の取扱説明は各製品の説明書をご確認ください。
※2 本体ACアダプタ式のみ、幅>2438mmの場合、65Wアダプタが付属します。

1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
・ヘッドレール本体 ・スクリーン本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書 ・オプションアイテム(※) ・オプション付属品(※)
※ オプションを選択した場合のみ
- 同梱の取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

注意 手順③スクリーン本体の取り付けが完了するまで、スクリーン本体を止めている帯紙を絶対にはずさないでください。



2 ヘッドレールの取り付け

窓枠天井付け(窓枠の内側に取り付け)

ヘッドレール後部パーツをネジ穴に合わせ設置面に付属のネジで締め固定します。

遮光フィルターがサイドキャップと窓枠との隙間を埋めます。

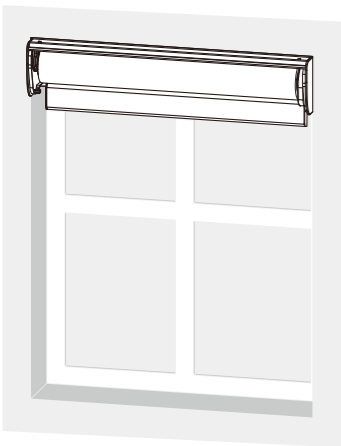
外付け(特に窓枠のないフラットな壁のみ対応可)

ヘッドレール後部パーツをネジ穴に合わせ設置面に付属のネジで締め固定します。

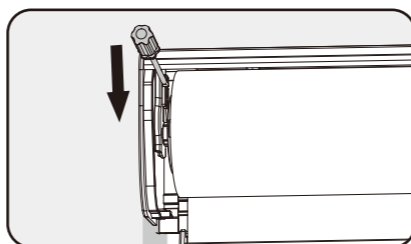
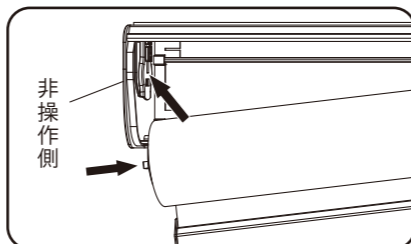
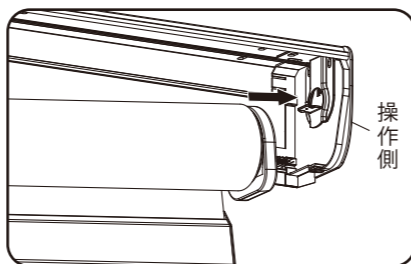
ヘッドレール下部を窓枠の上部ラインに合わせます。

3 スクリーン本体の取り付け

スクリーン本体の取り付け

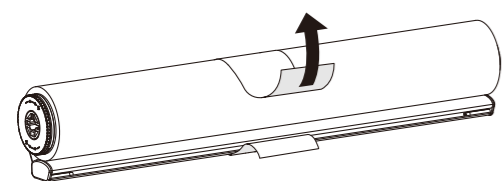


- スクリーン本体の操作メカ側と操作メカ側のサイドキャップを合わせます。ガイドレールの突起を巻取りパイプに差し込みます。
- ①状態のまま、もう一方のパイプをサイドキャップに固定します。非操作側のパイプ中心はバネ式で押しとへこみますので、中心を押しながらサイドキャップにはめ込んでください。パイプがサイドキャップに仮固定された状態です。
- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



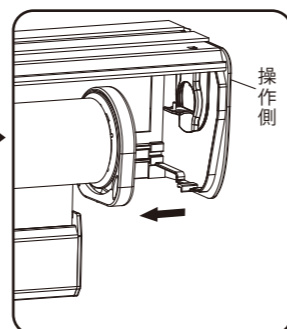
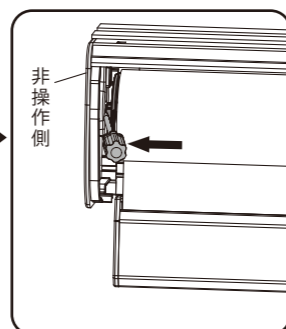
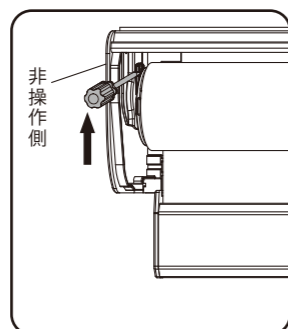
4 スクリーン本体設置後、帯紙の取り外し

スクリーン本体の取り外し



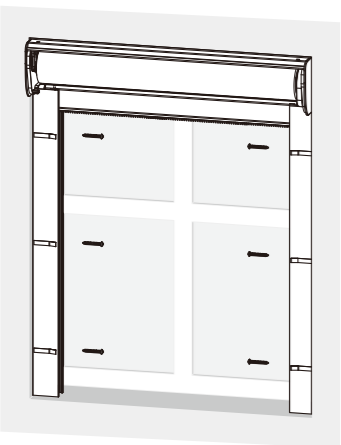
ご注意ください
刃物など鋭利な道具を使用すると製品を傷つける可能性があります。気を付けて取り外してください。

- マイナスドライバー等を使用し、非操作側サイドのサイドキャップのロックを解除します。(下図参考)
- 必ずスクリーン本体を支えながらロックを解除してください。
- ロック解除状態で、スクリーン本体を奥下に向かって斜めにスライドさせます。ヘッドレールから本体が外れます。

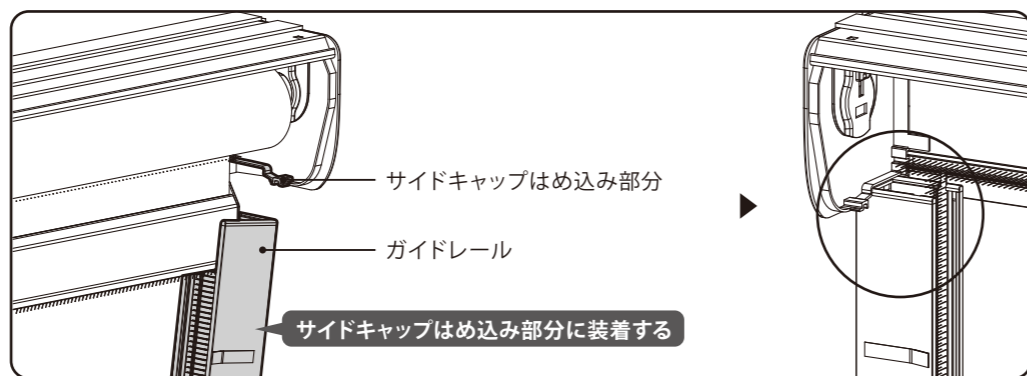


5 左右ガイドレールの取り付け

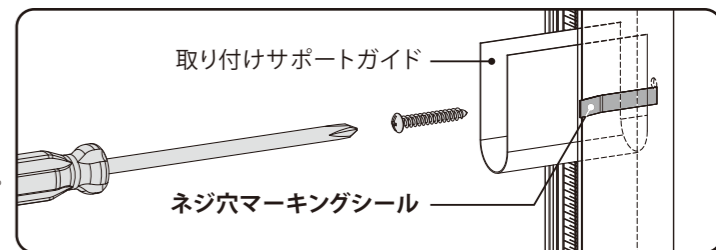
【窓枠天井付け】



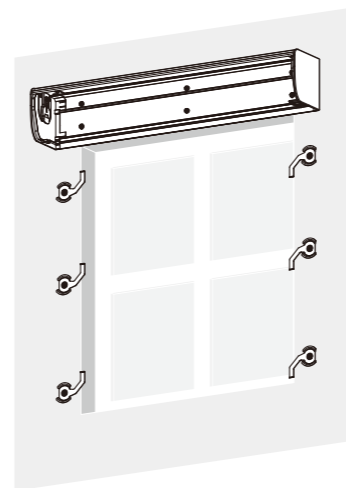
- スクリーン本体の昇降操作が正常に作動することを確認したら、左右のガイドレールを設置します。
- ガイドレールをサイドキャップのはめ込み部分に装着します。
※ 注意: ガイドレールは左右で異なります。ガイドレールキャップの上部にLEFT/RIGHTの表示があります。正面室内側にはネジ穴マーキングシールが貼り付けられています。



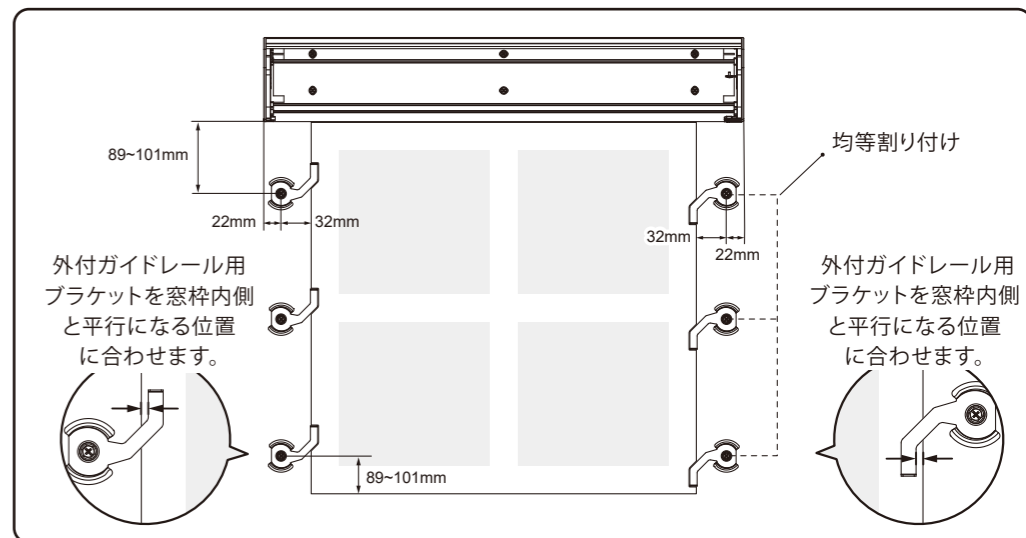
- ガイドレールはモヘアにより、ネジ穴の確認が難しくなっております。ネジ固定作業の際、付属の取り付けサポートガイドをU型にさせ、ネジ穴マーキングシールに合わせようとしてネジ設置作業を行ってください。



【外付け】

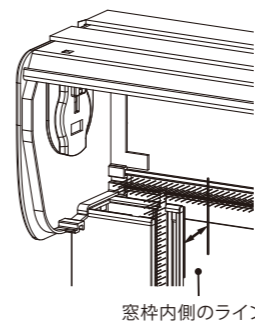


- スクリーン本体の昇降操作が正常に作動することを確認したら、左右のガイドレールを設置します。
- 外付ガイドレール用ブラケットをネジで締め固定します。
※ 外付ガイドレール用ブラケットの設置位置と装着方法を下記の画像をご確認ください。



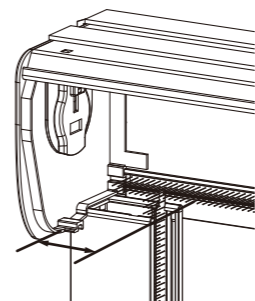
- ガイドレールを窓枠内側に揃えて置きます。

注意:
ガイドレールは左右で異なります。ガイドレールキャップの上部にLEFT/RIGHTの表示があります。

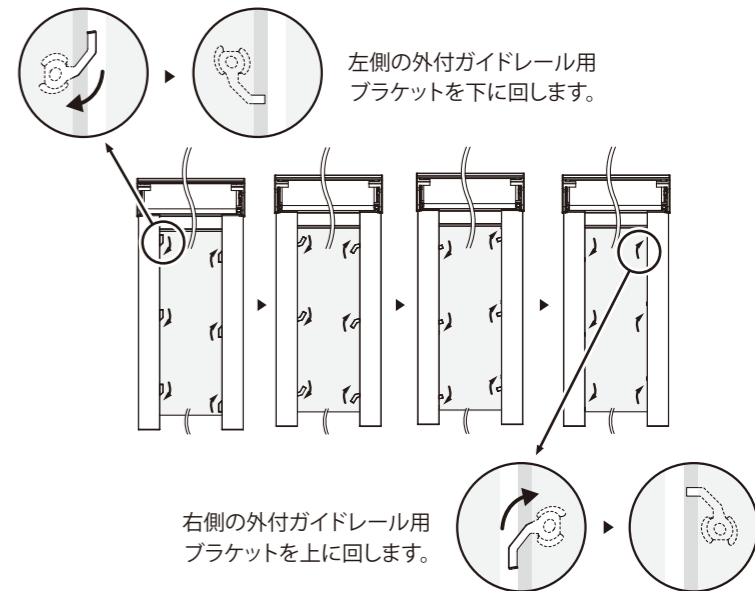


窓枠内側のライン

- ガイドレールをヘッドレールの中に入れて、ガイドレールの上端とフェイスアの下端を合わせます。



- 外付ガイドレール用ブラケットを回し、ガイドレールを固定します。

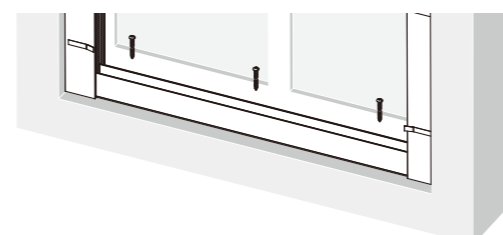


6 ボトムチャンネルの取り付け

※ オプション: ボトムチャンネル無しの場合は省略

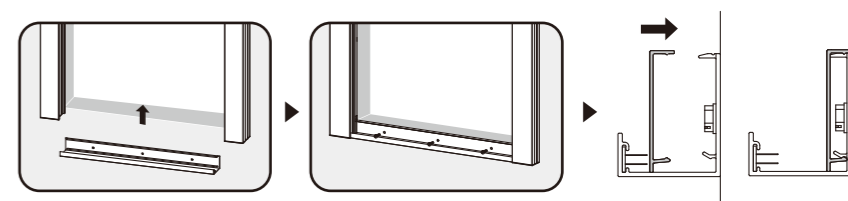
【窓枠天井付け】

- ボトムチャンネルを図のように底面設置面に合わせます。
- ネジ穴に合わせてネジを締め固定します。



【外付け】

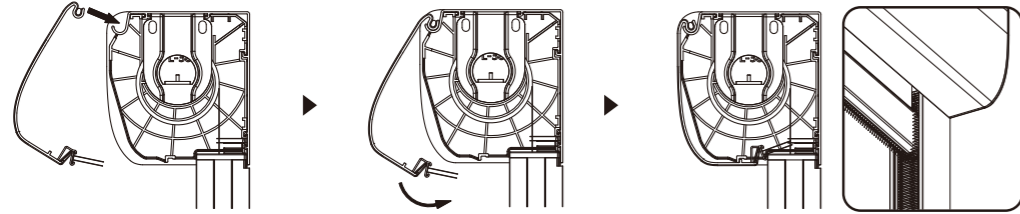
- 外付け用ボトムチャンネルをガイドレールの下から入れ込んで、ネジ穴に合わせてネジを締め固定します。最後、ボトムチャンネルカバーをかけます。



7 前部フェイスアの取り付け・取り外し

前部フェイスアの取り付け

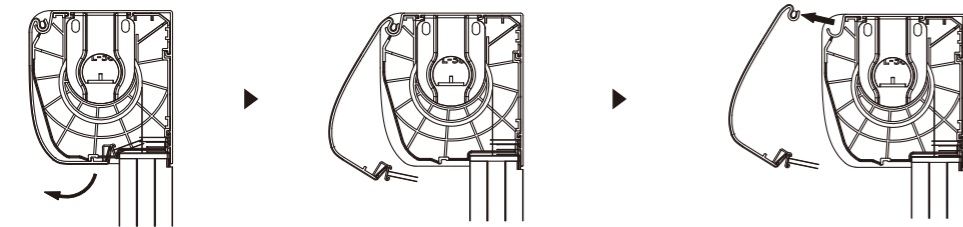
- スクリーンの昇降操作が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
※ 閉める際に、ボールチェーンの位置が挟まっていたりしていないかチェックしてください。
- 前部フェイスア前部パーツの引っかかりを、後部パーツの溝に合わせ引っかけます。
- 前部フェイスア前部で蓋をすするように、後部パーツ下部くぼみに合わせ「パチッ」と音がするまでしっかりと閉じます。



【窓枠天井付け】

前部フェイスアを取り外し

- 前部フェイスアを取り外し。
- 前部フェイスアの下部分を掴み、図のように下手前方向に力を入れ、上に回し上げてください。
- 下端部から外れたら、前部フェイスア上の溝から引っ掛かりを取り外してください。これで、前部フェイスアが取り外せます。



9 充電コネクター電源ユニットを接続(オプション)

※オプション:スクリーン本体充電電池式の場合

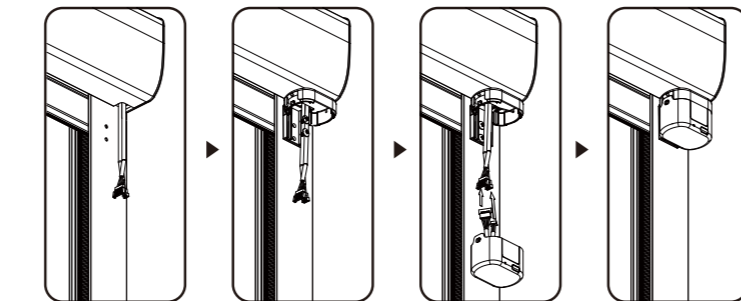
9-1 本体充電電池式のみ

スクリーン本体から出ている電源コードを充電コネクターの端子に接続します。2本それぞれ端子の形状が違います。対応する端子同士接続を行ってください。

■スクリーン本体 充電電池式 電源起動手順

開梱時は電源が入っていません。手動スイッチを3秒長押しします。起動後、表示灯が緑色に4回点滅します。

- 警告** 必ず本体をブラケットに設置してから電源起動手順を行ってください。
- ご注意ください** 製品とパワーロッドはそれぞれ工場出荷時に動作確認のため充電を行ってありますが、製品使用前にはあらかじめ充電を行ってからお使いください。



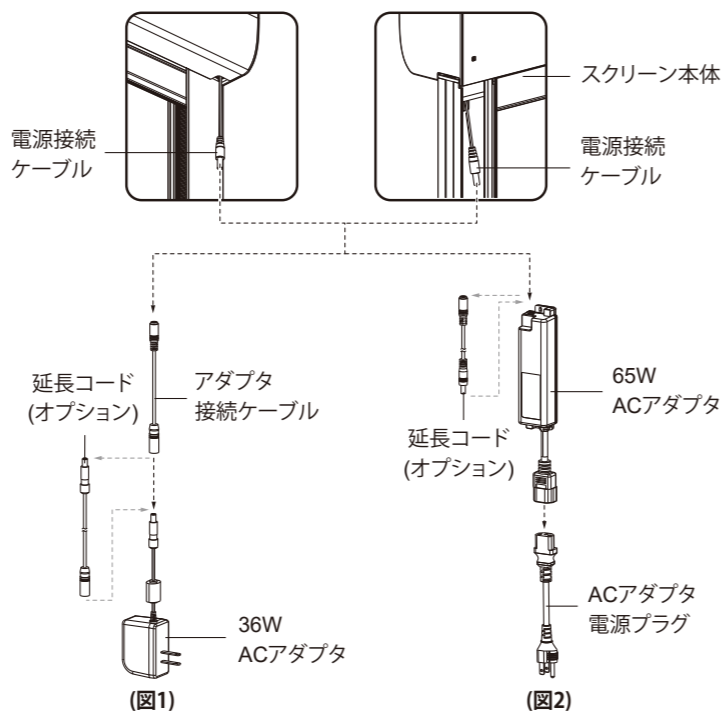
9-2 本体ACアダプタ式のみ

■36W ACアダプタを本体に接続するクリーンに電源を入れる(図1)

- 36W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- アダプタ接続ケーブルを本体の電源接続ケーブルに接続します。
※接続された状態で出荷されます
★ 延長コードの接続が必要な場合は、アダプタを先に延長コードに接続したのち、アダプタ接続ケーブル、電源接続ケーブルの順に繋げます。
- アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。

■65W ACアダプタを本体に接続するスクリーンに電源を入れる(図2)

- 65W ACアダプタをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★ 延長コードの接続が必要な場合は、本体の電源接続ケーブルを先に延長コードに接続したのち、アダプタ、ACアダプタ電源プラグの順に繋げます。
- アダプタをACアダプタ電源プラグに接続します。
- アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。



電源と本体の接続

	スクリーン本体 充電電池式(パワーロッドモデル)	スクリーン本体 ACアダプタ式
本体コンセント接続	不要	必要
延長コードの接続	パワーロッドから ACアダプタまで	本体電源接続ケーブルから ACアダプタまで

■スクリーン本体 充電電池式 電源起動手順

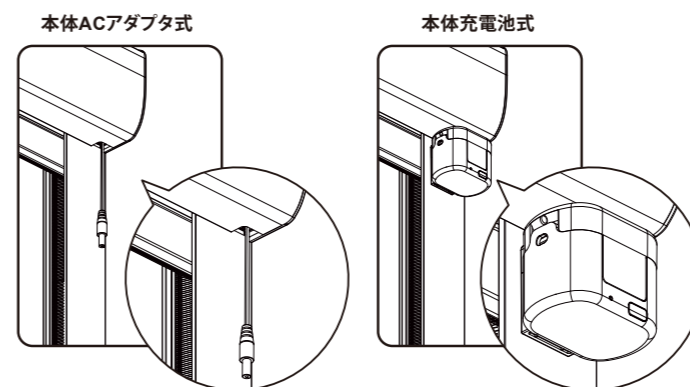
開梱時は電源が入っていません。手動スイッチを3秒長押しします。起動後、表示灯が緑色に4回点滅します。

- 警告** 必ず本体をブラケットに設置してから電源起動手順を行ってください。

あれ?? て思ったとき

こんなとき(症状)	考えられる原因	こうする(処置)
スクリーンが操作できない	スクリーンが電波を受信していない	リモコンでスクリーンを操作して、スクリーンの表示灯を確認してください。 緑色に点滅:スクリーン受信状況は正常です 赤色に点滅:低電力/スクリーン温度異常 赤、緑色が交互に点滅:その他の異常 表示灯が光らない:電波を受信していない/グループ設定ができていない/電源が入っていない
	リモコンのバッテリー残量不足	グループボタンが正常に光ることをご確認ください。または、電池を交換してください。
	スクリーンのバッテリー残量不足 ※(スクリーン本体充電電池式モデル)	パワーロッドでスクリーンに充電を行って下さい。
	グループ設定を行っていない	リモコンのグループボタンで設定を行ったグループのボタンを長押ししてください。正常に設定されているスクリーンが、上下動してお知らせします。未設定の場合は、リモコンの取扱説明書の手順に従って設定を行ってください。
	スクリーン温度異常 (温度が高い/温度が低い)	スクリーン操作時に赤色に点滅した場合、スクリーンの温度異常の可能性があります。30分ほど経過して、製品規格に記載の適切な操作温度範囲のもと操作を行ってください。
スクリーンの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	操作ボタン未設定	リモコンのベストビュー(山の表示)/ベストプライバシー(家の表示)ボタンを押して、スクリーン表示灯が緑色に点滅、正常に動作するか確認をしてください。スクリーンが動かない場合、限界位置が未設定の可能性があります。リモコンの取扱説明書の手順に従ってスクリーンの限界位置を設定してください。 ※スクリーンはすべての限界位置を設定完了後、すべての機能が使用できます
	その他の異常	再起動:手動スイッチを3秒長押しで電源の入れる/切るを行います。電源を切る場合は、表示灯が赤く点滅します。電源を入れる場合は緑色に点滅します。再起動でも異常の復旧ができない場合は次項の“本体強制再起動”を試してください。 本体強制再起動:手動スイッチを10秒長押ししてください。表示灯が赤色に点灯したらスイッチを離してください。本体が強制再起動します。以上の各対応方法で解決できない場合はお問合せください。
スクリーンの自動停止位置が変わった(限界位置のずれ)	急な電源の切断	急な電源の切断により、上下限界位置がずれる場合があります。リモコンの取扱説明書の手順に従って再度上下限界位置の設定を行ってください。
	その他の異常	お問合せください。

手動スイッチ機能説明



それぞれサイドキャップと充電コネクターに設置されている手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にスクリーンを操作することができます。
静止中に押す:スクリーンが昇降を行います
昇降中に押す:スクリーンが停止します。

また、電源スイッチとしてスクリーンの電源を入れる・切ることができます。
スクリーンの電源を入れる:スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅します。電源が入ります。
スクリーンの電源を切る:スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅します。電源が切れます。

使用上のご注意

▶表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。

⚠注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠危険 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

▶お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

🚫 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

🛑 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

製品全体

🚫▶動作環境

本製品は動作環境が0℃~40℃の範囲内でご使用・充電をしてください。範囲外で使用・充電を行うと、バッテリーからの液漏れ、熱によるバッテリー損壊・性能低下等の恐れがあります。

🚫▶感電の危険性や損壊の恐れがあります

- ・スクリーン本体やパワーロッドの電源接続端子（金属部分）、ロッド底部の凹み内部（金属部分）に触れること
- ・濡れた手で製品を操作すること
- ・液体や火気の付近に近づけること

🚫▶分解行為

パワーロッドや付属アクセサリの分解、部品交換、改造などをご自身で行わないでください。故障の場合は速やかに販売店にお問合せください。販売店またはメーカーの指示によらない誤った使用方法は製品保証対象外となることがあり、保証期間内でも保証を受けられません。

⚠注意

🚫▶本製品以外への給電、非対応機器での充電をしない

バッテリーには保護回路があります。スクリーン以外の機器への給電や意図しない充電機器を使用すると、保護回路が故障する可能性があります。

⚠▶充電方法

ご使用の前に必ず本書をお読みにになり、正しい方法で充電を行ってください。

⚠▶初回使用時

初回使用時、異臭・発熱・サビ等が見られた場合、すぐに使用をやめ、販売店へご連絡ください。

🚫▶可燃物付近での使用

可燃物の近くで使用・充電を行わないでください。発火により火災の恐れがあります。

⚠▶露出されたリード線や金属端子部の取り扱い

断線等でリード線や金属端子部分が露出した場合、危険ですので電気絶縁用ビニールテープなどで一時的に絶縁処理を行ってください。感電やショートにより発熱、破裂、発煙、発火の原因となります。

⚠▶廃棄方法

ご不要になった場合、各自治体の指示に従って処分してください。

充電機内蔵式スクリーンの安全注意事項

スクリーンにはリチウムイオンバッテリーが内蔵されており、バッテリーには電解液等の可燃物質が使用されています。誤った取扱方法は火災や発煙、爆発などの恐れがあります。またバッテリーの機能を著しく損なう可能性もあります。記載の注意事項を必ずお読みにになり、ご使用の際はご注意ください

⚠危険

下記のような状況で使用・保管した場合、火災・発煙・発熱・爆発・液漏れにつながる恐れがあります

🚫・水没・濡れる 保護回路が損傷する原因となります。

・高温、火気の近くでの使用・保管 例：電子レンジや調理器具の近くなど

・高温になる場所（80℃以上）で放置する 例：直射日光下、車内など

・非純正のアクセサリを使用する バッテリーが破裂する原因となります。

・条件（動作環境範囲、電圧、電流）外で使用する バッテリーが破裂する原因となります。

・リチウムイオンバッテリーの極性を誤る

・AC電源コンセントで直接充電する 必ず専用の充電器を使用してください。

・車のシガーソケットで充電する

・非対応製品、意図しない機器に給電する

🚫・金属製品と一緒に保管・移動する

リチウムイオンバッテリーのプラス極とマイナス極に金属が触れると、ショートして大きな電流が流れ、発熱、破裂、発火あるいは金属が発熱するなどして危険です。

・強い衝撃を加える

・釘を打つ、ハンマーで叩く バッテリーの破損、内部短絡が発生する原因となります。

・はんだ付けをする コンパートメントが溶けたり、ガス放出口などの安全機構が破損する原因となります。

・分解する 保護回路が損傷する原因となります。

・高温になる場所で充電する バッテリーの保護回路が誤作動し充電ができなくなったり、故障することがあります。

⚠警告

⚠▶幼児の手が届かないところで保管する

バッテリーやスクリーンは幼児の手が届かないところで保管してください。誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

🚫▶他のバッテリーと混ぜて使わない

異なる種類のバッテリーと混ぜて使うと、容量・性質の違いにより、発熱、発煙、発火の原因となります。

⚠▶製品に異常がある場合は、使用を中止する

異臭、発熱、変色、変形等異常が見られた場合、すぐに使用をやめてください。バッテリーが破損している可能性があります。

⚠▶充電が完了できない場合は、充電を中止する

充電が目安時間で完了しない場合、充電を中止してください。

⚠▶液漏れした場合、電解液に触れない

液体が目や皮膚に付着した場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明や皮膚の炎症等の原因となります。

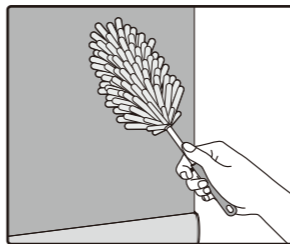
⚠▶液漏れした場合、火気から遠ざける

液漏れや異臭が発生した場合、すぐに火気から遠ざけてください。漏れた電解液や気体に引火し、破裂、発火の原因となります。

⚠▶運搬の際は、しっかりと梱包する

バッテリーのショートや損傷を防ぐため、スクリーンは箱等で梱包し運搬してください。

お手入れ方法



- 日頃のお手入れは、小型ほうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。汚れがひどい時は、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。洗濯や洗浄力の強い洗剤は使用しないでください。ドライクリーニングもおすすめしません。また、低吸引力のハンド式清掃機の利用も可能です。



警告

スクリーンに深刻な影響を与えるような洗剤、硬い掃除道具などは使用しないでください。またお手入れするとき生地を折らずにお掃除ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシールについて

- お買い上げいただいた製品情報はメンテナンスシールに記載しております。製品に関するお問い合わせはメンテナンスシールをご確認ください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木 3階

お客様サービス窓口：0120-051-507（お問い合わせ時間：平日9時30分～18時）

ホームページアドレス：
<http://www.norman.co.jp>